

平成25年度 環境目的及び目標一覧表

【環境負荷事業活動（日常業務活動）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	責任者
エコオフィスうえだの推進	行政の率先行動による環境負荷の低減	1	「エコオフィスうえだ」に基づき、日常業務活動に使用する物品等（用紙類の使用や電気・ガス・水道等）の削減に努め、グリーン購入を推進します。	各課所長

【環境負荷事業活動（公共工事関係）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
				数値目標	
公共工事による環境負荷の低減	公共工事に伴う環境への負荷低減を図る。	1	「上田市公共工事配慮指針」に基づき公共工事に伴う負荷低減を図る。	環境配慮率平均 90%	公共工事担当課長

【環境保全事業】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
新エネルギーの活用を推進	行政の率先行動による環境保全活動	1	新エネルギー・省エネルギー利用施設に対する補助金の交付	交付件数	関係課所長

【環境保全事業（その他）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
上田市環境基本条例の基本理念に基づく各種環境保全施策	行政の率先行動による環境保全活動	1	地域及び住民等への環境啓発活動の推進	各担当課所により指標は異なる	関係課所長
		2	地域美化活動の推進	各担当課所により指標は異なる	関係課所長
		3	緑あふれ、調和のとれた美しい景観を保つ	各担当課所により指標は異なる	関係課所長

平成25年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
1-1	21	騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	定期的な観測により、種類ごとに基準と比較し達成率を算出し、監視します。	市内一般環境、道路、新幹線について、騒音の状況を把握するため調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	一般環境については11地点、道路騒音については7地点、新幹線騒音については2地点。それぞれ基準と比較し、状況を把握する。	◎	予定通り実施。	生活環境課
1-1	50	市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年 310,000台	○	お城口駐車場 84,363 温泉口駐車場 27,539 お城口第二駐車場 185,820 計 297,722	管理課
1-1	63	循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	○	51,132人 大雪のため運休が多くあったため、循環バス利用者数は前年度を上回ったものの、オレンジバス利用者数は減少し、全体でも前年度を下回り、目標を達成できなかった。	地域交通政策課

平成25年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
1-2	20	水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、市内の水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川及び地下水の調査地点について、水質状況を把握するため調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	河川については計35地点。地下水については計12地点。それぞれ環境基準と比較し、状況を把握する。	◎	予定どおり実施。	生活環境課
1-2	24	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設10基	◎	平成25年度実績は、上田：8基(5人槽：3、7人槽：4、51人槽以上：1)、丸子：3基(5人槽：2、50人槽：1)、箕田：9基(5人槽：4、7人槽：3、10人槽：1、20人槽：1)、武石：2基(5人槽：1)の計22基で、補助額実績は13,107,000円です。	生活環境課
1-2	70	下水道の普及促進	きれいな水の確保	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発(随時) ・苦情対応戸別訪問の実施(随時) ・下水道未接続者に対する啓発文書発送 ・効果的な水洗化促進策の検討	水洗化率 ・平成24年度末の下水道水洗化(利用率)率を88.1%に向上させる 確認申請件数 ・880件を目標とする。	○	・戸別訪問については、農集地区454戸、公共処理区3,647戸、合計4,101戸を訪問することができた。 ・確認申請件数については、目標615件に対し、707件の新規使用開始がされ、目標は達成された。 ・水洗化率については、年度末で88.5%と目標の88.7%を達成することができなかった。	サービス課
1-2	72	鉛給水管布設替え	安心安全な水道	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 500件 故障修繕対応 100件 水道本管工事対応 件 計 600件	布設替件数	◎	計画修繕対応 351件 故障修繕対応 132件 水道本管工事対応 42件 確認再調査対応 235件 計 760件	水道課
1-2	73	公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○管渠の整備 L=6.8km ○処理場の整備 南部終末処理場 増設(汚泥処理施設) 上田終末処理場 改築(汚泥処理施設)	普及率 97.3% (上田地域74.9%)	○	・管きよ整備は、約L=2.9km発注が ・普及率は、97.1%	下水道課
1-2	74	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	河川水の採水及び水質検査の実施	検査頻度を毎月1回とする	◎	10/23、11/13、12/12、1/16、2/13、3/6に実施済み	浄水管理センター
1-2	75	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/l以下 末端給水栓水 通常0.1mg/l以上 ②検査回数	◎	①概ね達成 元出し最大 観越浄水場 11/23 0.78 鹿教湯浄水場 10/10 0.79 末端0.1以上 OK ②概ね達成 毎月実施済み	浄水管理センター(丸子管理係)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課

平成25年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-1	47	造林事業	森林の育成・保全	県の森林税等を活用して私有林150haの間伐を推進し、健全な森林を育成する。	①私有林間伐200haの実施	①間伐の実施面積	◎	市内全域の18地区210haの施業を完了しました。	森林整備課
2-1	48	松くい虫防除対策事業	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	被害木伐倒薬剤処理 V=8,000m ³	①被害木7,060m ³ の伐倒薬剤処理	①被害木の処理量	◎	松くい虫被害の防除対策として、市内全域において目標を上回るV=8,821m ³ の被害木の伐倒駆除を実施しました。	森林整備課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-3	45	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成24年度 80ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 24年度目標 80ha	◎	115ha	農政課
2-3	107	遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る(数値目標 平成24年度 遊休荒廃農地解消面積 5ha)	遊休荒廃農地の解消(遊休荒廃農地解消対策委員会、地区審単位での解消)	補助事業等による遊休荒廃農地解消目標面積 23年度末10ha/年 ⇒24年度目標約5ha/年 (行政と連携して解消)	◎	前年度実施した遊休農地の利用状況調査及び意向調査の結果を活用し、関係機関連携の下で7地区、11haの解消を図った。 9月～11月にかけて今年度の利用状況調査を実施し、新たに発生した遊休荒廃農地の所有者等に意向調査を行った。	農業委員会事務局

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-1	32	ごみ減量・再資源化対策事業①	循環型社会の形成に努める	廃棄物の減量・リサイクルの推進	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器等購入費補助事業	1 モデル事業における生ごみ処理量の拡大 2 ごみ減量化機器利用者の増加 3 1人当たりのごみ排出量の減少	○	1 生ごみ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園から回収 堆肥化実績 7.34t(昨年度より1.89t増) ・製造した堆肥の農地での実証実験の実施 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うえだ等で補助制度を周知 ・補助制度の拡充 要綱改正による対象機器の追加 ・補助実績(容器、処理機) 263台	廃棄物対策課
3-1	33	ごみ減量・再資源化対策事業②	循環型社会の形成に努める	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコハウスの運営 2 ごみ減量アドバイザーの活動	1 エコハウス来館者数 2,000人以上 2 エコストアの現状把握	○	1 エコハウスの運営 ・各種講座の開催、情報発信(随時) ・今年度から新たに「古着回収」を開始した 回収実績 18.66t 2 ごみ減量アドバイザーの活動 ・啓発活動は随時実施 ・エコストア現状調査の実施	廃棄物対策課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2	3	農村環境改善センターの維持管理	施設利用者の安全と電気・水道・暖房等の使用量の抑制を図る	エコオフィスをうえだに基き、地球環境の保全に取り組む	①事務室内温度、冬20℃・夏28℃に設定 ②センター利用者へのエコオフィスのPR ③水曜日の資源回収時の指導 ④コピー用紙の両面使用の推進	電気使用量50,000kWh、水道使用量350㎡、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量2,000ℓ、LPG使用量60㎡、コピー使用量25,000枚、可燃ごみ排出量100kg	○	①コピー用紙使用量 20,801枚 ②電気使用量 45,729kW ③灯油使用量 1,759ℓ ④A重油 6,000ℓ ⑤水道使用量 319㎡ ⑥LPGガス使用量 76㎡ ⑦可燃ごみ排出量 200kg	豊城地域自治センター
3-2	5	地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と生活環境の改善	塩田地域における環境保全に向けた取り組みと啓発	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。地区自治会連合会他、諸団体や行政と連携して活動を推進。	物的効果がすぐに現れることは、取り組む事業により異なるが、市民の意識が環境保全活動に向くことが重要。	◎	・自治会単位の改善要望及び台風18号による復旧要望等については、関係課所の当初予算に盛り込まれ26年度に随時達成される予定。	塩田地域自治センター
3-2	7	職員の管理に関すること	エコオフィスの推進	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(5月14日～10月31日)	・実施状況の把握	◎	・ノー残業デー(水曜日)、19(育児)の日(毎月19日)の掲示板による周知 ・クールビズ(5月14日～10月31日)実施	人材開発課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち																																							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する																																							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課																																
3-2	11	電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 27業務	△	・交流文化芸術センターの委託募集は、市民等の直接利用として706件、職員の入力利用955件で、今年度も利用された分野である。 ・市政従言メールについては、広聴の機能性を向上させた。 ・ふるさと審判金については、Yahoo!公文支払いの導入に含ませて、メニューごとに分類し直したことで、職員の業務改善につなげた。	情報推進課																																
3-2	15	庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	△	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>増減(15-24)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>67,385</td> <td>67,575</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>5,665</td> <td>6,066</td> <td>401</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>14,364</td> <td>13,492</td> <td>-872</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>54,000</td> <td>51,000</td> <td>-3,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>48,298</td> <td>45,215</td> <td>-3,083</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>1,500,384</td> <td>1,422,308</td> <td>-78,076</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>21,848</td> <td>22,068</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	増減(15-24)	ガソリン	67,385	67,575	190	灯油	5,665	6,066	401	軽油	14,364	13,492	-872	A重油	54,000	51,000	-3,000	都市ガス	48,298	45,215	-3,083	電気	1,500,384	1,422,308	-78,076	コピー	21,848	22,068	220	公有財産管理課
	24年度	25年度	増減(15-24)																																						
ガソリン	67,385	67,575	190																																						
灯油	5,665	6,066	401																																						
軽油	14,364	13,492	-872																																						
A重油	54,000	51,000	-3,000																																						
都市ガス	48,298	45,215	-3,083																																						
電気	1,500,384	1,422,308	-78,076																																						
コピー	21,848	22,068	220																																						
3-2	16	税務業務の効率的運営	eL-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	eL-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うえだ、市のホームページ・行政チャンネル等を活用したeL-TAXの利用推進。	申告におけるeL-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 45% 給与支払報告書 30% 償却資産 10%	○	1月から電子申告が集中するため、10月から事業者、税理士等にeL-TAX利用の推進チラシ等を配布した。 eL-TAX利用により、事務の効率化が図られた。 4月～3月のeL-TAXサービスの状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>金額</th> <th>利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人市民税</td> <td>2,020件</td> <td>5,912件</td> <td>48.1%</td> </tr> <tr> <td>給与支払報告書</td> <td>3,140件</td> <td>21,808件</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>償却資産</td> <td>1,777件</td> <td>5,167件</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>課税連携</td> <td>28,678件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		利用件数	金額	利用率	法人市民税	2,020件	5,912件	48.1%	給与支払報告書	3,140件	21,808件	14.4%	償却資産	1,777件	5,167件	15.0%	課税連携	28,678件			税務課												
	利用件数	金額	利用率																																						
法人市民税	2,020件	5,912件	48.1%																																						
給与支払報告書	3,140件	21,808件	14.4%																																						
償却資産	1,777件	5,167件	15.0%																																						
課税連携	28,678件																																								
3-2	17	印刷物の見直し	印刷物の数量、印刷内容の見直しによる環境負荷の低減	印刷物の発注に当っては、常に仕様内容を確認する。	・各種印刷物の作成	・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・紙面の有効活用(利用者に分かりやすい紙面への工夫を図る)	○	在庫状況を確認しながら、適正な数量の執行に努めた。	市民課																																
3-2	22	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)設置補助	エネルギーの有効利用	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進めます。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 543件(上田地域のみ)	◎	平成25年度3月末で、上田地域では560件の補助を行った。	生活環境課																																
3-2	23	雨水貯留施設設置補助	水資源の保全	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設に対する補助の実施	補助金交付件数 25件	◎	平成25年度実績は、上田地域では20件の補助を行いました。	生活環境課																																

平成25年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2	27	エコオフィスうえだ(上田市役所地球温暖化防止実行計画)の推進	地球環境の保全・行政の率先行動	市役所庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制を推進します。	「第二次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。	全庁舎の温室効果ガス総排出量	◎	夏及び冬の節電対策を行うことにより、上田地域における電気使用量は前年度より削減することができた。紙のリサイクルについては、分別状況が悪化している様子がうかがえる。エコオフィスの取組みは定着してきているものの、形骸化も見受けられる。	生活環境課
3-2	34	市営住宅の管理	①環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.00%以上	◎	当初の計画のとおり、6月及び7月に全入居者への通知の中で「節電・節水」を呼びかけ、環境啓発に努めた。口座振替は、新規入居者については100%で推移し、全体では87.1%となり、目標を達成した。	住宅課
3-2	37	国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減	コピー用紙の削減化 ・裏紙、2in1コピーの活用 ・リサイクルの徹底による可燃ごみ排出の抑制	24年度のコピー枚数目標 116,000枚(22・23年度平均値)	◎	平成25年度コピー枚数103,643枚となり、23・24年度平均値の95%と4ポイント上回りました。	国保年金課
3-2	39	太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を治図る	保育施設の改築建替えに伴う太陽光発電設備設置を検討する	設備設置の園数(今後改築や建替えをする全施設への設置を目指す)	◎	神科第一保育園建替事業の実施設設計において、太陽光発電設備の設置を盛り込んだ。	保育課
3-2	41	「新技術等開発事業」助成金	廃棄物の減量と資源再利用の促進 エネルギーの有効利用	環境にやさしい「新技術等」の開発を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明20件(制度の主旨・目的)	○	・事業者訪問等で補助金利用の案内を行った。(10件、年間20件)	商工課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2	43	池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進(一人当たりの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当たりの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当たりの電力量5kwh以下。	○	・閉館後の消灯等節電、施設内の適正な温度管理等に取組んだが、2月の大雪の影響等により、前年と比較し、年間の電気使用量が約7割増した。 ・期間の入館者数はほぼ目標を達成したが、電気使用量の増加により、入館者一人当たりの電力量は15.82kwhとなった。 【平成25年度】入館者数29,708人、電力使用総量172,757kwh	池波正太郎真田太平記館
3-2	76	小中学校改築事業	地球温暖化防止活動の推進	環境にやさしい学校づくり(太陽光発電システムなどの導入検討)	清明小学校への太陽光発電システムの導入	太陽光発電システム(10kwh)の設置	◎	学校改築事業にあわせて、新たな太陽光発電システムの導入について検討。	教育総務課
3-2	78	給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	◎	高学年への学校訪問回収業務を兼ねて実施したので、14校すべてに行くことができ、多くのボランティアも参加した。新設給食室は(24年度)委員会(13回(98名)実施。残菜量についてはインフルエンザが突発的にあり、多量だったが、年間を通してみると少なかった。地元農産物については、使用量が増加している食料などの汚れの苦情が多くなり、作業方法などを見直した結果、作業時間がのびてしまし、電気・水道・水運などが思うようには減らせなかった。	第二学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-3	44	ホームページ、QRコードを使用した観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内をします。	ホームページ、QRコードを積極的に使用した観光案内を行う。	パンフレット・ポスター全てにQRコードを入れる。	総合パンフレットには総合版、ダイジェスト版の2種類があり、その全てにQRコードを入れる。		2014上田城千本桜まつりポスター、パンフレットにQRコードを採用した。	観光課
3-3	66	施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1 計画・設計における環境配慮 2 工事施工における環境配慮	別紙様式G 1のとおり	○	報告対象となる2,000万円以上の事業13件について目標の100%は達成出来なかったが、98.1%とほぼ目標を達成した。	建築課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-1	95	文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	○	・旧常田館製糸場施設の保存活用計画策定及び国重文法住寺虚空蔵堂の修理の補助事業を行い文化財を保護した。 ・県宝の旧倉沢家住宅及び上田城櫓の保存修理事業を行い文化財を保護した。	文化振興課
4-1	97	環境への負荷の低減に係る啓発事業	歴史・文化を未来に引き継ぐ。地域の歴史・文化・誇りを次世代に伝える。	利用者への環境啓発(掲示)・事務の効率化の推進	「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。 事務の効率化(納付書の活用)を図る。		◎	事務の効率化(納付書の活用)の状況 86.8%	市民会館
4-1	98	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、51,124人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	博物館
4-1	99	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・平成25年度の来館者は、2,939人であった。 ・教室等も予定通り実施された。	武石ともしび博物館
4-1	100	記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・平成25年度の来館者は、28,351人であった。 ・教室等も予定通り実施された。	山本鼎記念館
4-1	101	信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	◎	・樹木のチップ化も100%である。 ・入館者は、昨年度を上回る7,163人。	信濃国分寺資料館

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-2	58	公園の建設	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	① リバーサイド街区公園整備 0.11ha ② 桜堤整備工事 ③ 上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.52㎡/人とする。	○	・市民緑地広場整備は、駐車場工事と緑地広場整備工事を12月に入札、3月議会で本契約した。10月の開館に向けて、3月から工事に着手した。 ・上田城跡公園バリアフリー化工事の当初予算分は、年度内に完了した。補正予算分は、1月に発注、年度内完了を目指して施工していたが、2月の豪雪災害により工事が遅れ、完了が4月下旬となる見込み。	公園緑地課
4-2	59	花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	花苗配布 127,000本 ① ②	地域自治会等に配布する花苗本数(127,000本)	◎	・10月に実施した秋花苗配布は、ビオラの苗63,050本で、年間145,346本を配布し、目的、目標を達成できた。	公園緑地課
4-2	60	花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 764人 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 770人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	◎	・種から育てる花づくり講習会(花を知ろう!編)を3月に開催し、目標どおり年間3回開催した。 ・花の種銀行の口座開設者は、3月末現在で787人となった。	公園緑地課
4-2	61	緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年7回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全を必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	○	・里山整備ボランティアは、年間6回開催する予定であったが、2月の豪雪災害により開催日の調整が遅れ、3月に予定していた作業が実施できず、年間5回の開催となった。	公園緑地課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-3	19	環境美化活動	うるおいやゆとりある都市空間の形成	地域美化活動を推進します	・広報・庁内掲示板への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) ・環境美化監視員によるパトロール・ポイ捨て防止チラシを配布(成人式) ・河川清掃 年2回 ・河川愛護活動の実施	・主要河川の清掃実施(春・秋2回) ・下水路の清掃実施(春・秋2回) ・ゴミゼロ運動の参加者人数 10,000人 ・河川活動をした団体数 52団体 ・環境美化監視員によるパトロール回数 月3回 ・ポイ捨て防止啓発チラシの配布 最低1回	◎	・河川パトロールを予定通り年2回実施(一斉河川パトロールを延べ26河川104ヶ所で行いました。(6月、11月))。 ・ゴミゼロ運動参加者数は、15,208人でした。	生活環境課
4-3	51	放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年400台以下	◎	警告書貼付 2,314件 撤去件数 191件	管理課
4-3	53	景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります。	・市広報、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長150m)	◎	・申請件数9件 ・生垣総延長110メートル ・交付決定額437,710円	都市計画課
4-3	54	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観形成市民団体等の認定	アダプトシステム協定を取り交わす地域住民団体等の検討	景観形成市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	△	丸子、真田、武石地域において1件ずつ新たにアダプトシステムの協定が締結された。	都市計画課
4-3	55	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	住民協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	住民協定締結の誘導に向け地区の検討	認定数(1)	△	・新たに景観づくり協定を認定した地区はなかったが、協定締結の準備段階として、一つの自治会において説明会を実施した。	都市計画課
4-3	56	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施 2回	景観ウォッチングの実施回数(2回)	◎	・10月12日(土)伊勢山地域で実施。参加者23人。 ・3月15日(土)下之郷地域で実施。参加者10人。	都市計画課

平成25年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-1	6	地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ビン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	◎	①リサイクル回収時、立会うことができないため、回収場所に、チラシ等を貼っての啓発を行った。 ②わがまち魅力アップ応援事業について、適切に受付を行った。 ④窓口で転入手続された方に、ゴミ回収についてのパンフレットを渡し説明を行っている。	川西地域自治センター
5-1	38	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ぼっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	◎	「ぼっくん」を使い、生ごみをたい肥化するとともに、それを園の花壇や菜園に還すことにより、循環型社会を目指す環境教育を推進した。	保育課
5-1	69		水環境の保全を図る	水環境の保全のための啓発活動を行うと共に、保全活動も行う	住民環境啓発		◎	・河川の汚染防止についてのパネルを新規に作成し「うえた環境フェア」に展示した。 ・11月15日に菅平地区のホテル・飲食店等を中心に油流出事故防止啓発ビラの配付を行った。	経営管理課
5-1	81	YAっHOーの発行	環境問題などについて掲載し、子どもや親の意識啓発	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	記事・情報として、環境問題などについて掲載し、子どもや親への意識啓発の機会とする。	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	◎	3月10日にNo.48号(17,000部)発行。 ごみのリサイクルをクイズにして出題し環境への関心を高めた。	生涯学習課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-1	82	自然活動体験教室事業	川遊びやキャンプを通じて、身近な自然とのふれあいを体験する。	自然体験活動事業を年3回実施する。	千曲川、市民の森等での川遊び、野外体験活動を通じて、市民に身近な自然とのふれあいを体験してもらう。	自然活動体験事業を年3回開催する。	◎	Myかんじまで冬の山を歩こうは、大雪のため中止。 10月に予定していたクワイの放流は、予定通り実施。(2名成会、15名参加) 自然体験事業は、4回の目標に対し、3回実施した。 【参加状況】 延べ202名	生涯学習課
5-1	83	地域青少年育成指導者養成講座	子ども向けのレクリエーションや野外体験活動などの指導者を養成する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	青竹クーヘン作り、自然観察、安全講習、登山、キャンプ実習の各講座を開催する。	自然体験活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	◎	2月のスノーシューで山歩きは、大雪のため中止となった。 自然体験活動全般の事業を5回予定していたが、上半期の4回実施した。 【参加状況】 延べ49名	生涯学習課
5-1	84	各種講座・里山づくり支援	地域における環境保全活動及び住民への環境啓発の推進	市民の環境に関する意識の啓発を図っていく。	1 環境教室の実施 ・旬の野菜を使った料理教室(年12回) ・自然に親しむ講習会(年4回) ・太田山自然観察会(年2回) ・「まねき」-シ-ン講座(年4回) 2 団体等への支援 ・里山づくり支援事業(年6回)	すぐに効果は期待できないが、住民の環境に対する意識を高める。	◎	・太田山虚空蔵山縦走路トレッキング(2回) ・太田山虚空蔵山縦走路整備整備(2回) ・太田山虚空蔵山のろしりレー(1回) ・太田山虚空蔵山縦走路整備連絡会山岳講演会(1回) ・自然に親しむ講習会(2回) ・里山地帯の地域づくり講座(6回) ・里山で自然遊び体験講座(6回)	西部公民館
5-1	85	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設:3講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	開催講座数 参加者の満足度	△	キウナズナの配布を4月8日に100名にお届けした。自然観察会を11月29日(金)に28名参加のもと開催した。妙義山のトレッキングを通して自然に親しみ、環境に対する意識を高めた。しかし講師の都合、大雪により1回の開催にとどまり目標の達成には至らなかった。	城南公民館・解放会館
5-1	86	公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座 4回 野鳥観察講座 2回 水生生物観察講座 1回 工作教室 2回 人生いきいき講座4回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 延べ13講座 参加者数 200人	◎	各講座をほぼ予定通り実施しました。ただし、商工課と共催の1月の工作教室は、7月に豊後小140周年記念事業モデルロケット教室を開催した実施しませんでした。暮らしイキイキ講座では、洋服のリフォームを行いました。	上野が丘公民館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち																							
環境保全項目		環境にやさしい人を育む																							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課																
5-1	92	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		◎	6月の環境月間に合わせて、テーマ本の展示コーナーに環境に関する本を展示し、市民に啓発を図った。	上田図書館																
5-1	94	文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 100%	◎	・マダラヤンマの保護バトロールは9月で終了した。多くのに飛翔がみられた。高山蝶バトロールは、順調に実施した。	文化振興課																
5-1	102	各種大会等パンフレットの作成	ごみ減量の促進	大会参加者等と協力して、ごみの減量に努めます。	各種大会等	大会終了時のゴミ残量	◎	各種大会資料、会議資料を2in1や両面印刷するなど削減に努めた。	スポーツ推進課																
5-1	103	自然を守り、環境美化活動	自然を大切にし、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①利用者数</td> <td>93191人</td> <td>84952人</td> <td>8239人減</td> </tr> <tr> <td>②水道使用</td> <td>27851m³</td> <td>27901m³</td> <td>50m³減</td> </tr> <tr> <td>③灯油量</td> <td>1196%</td> <td>1190%</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年	平成25年	増減	①利用者数	93191人	84952人	8239人減	②水道使用	27851m ³	27901m ³	50m ³ 減	③灯油量	1196%	1190%	6%	自然運動公園管理事務所
	平成24年	平成25年	増減																						
①利用者数	93191人	84952人	8239人減																						
②水道使用	27851m ³	27901m ³	50m ³ 減																						
③灯油量	1196%	1190%	6%																						
5-1	104	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。	施設利用者数	○	館内掲出済	自然運動公園管理事務所																

平成25年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-2	1	自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の特設個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧にするよう指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	◆ 無駄を排除した、適正回覧数・配布数の的確な把握と周知徹底の実施	○	・各戸回覧への回覧・配布文章の把握 【下半年】各戸配布 【増】 6件 【減】 3件 回覧数 【増】 4件 【減】 10件 平成25年度年間送達件数実績 各戸配布215件、回覧220件 下半年は件数が増えたため、件数については当初を上回る結果となった。 ただし、緊急等止むを得ない場合にのみ、自治会役員にばかり依頼をいただいているものであり、的確な回覧・配布の把握と周知徹底という目標については、達成することができた。	市民参加・協働推進課
5-2	4	地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と地域産業との調和	塩田地域における環境啓発の推進	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。地区自治会連合会等諸団体や行政と連携して活動を推進。	物的効果がすぐに現れることは、取り組む事業により異なるが、市民の意識が環境保全活動に向くことが目標。	◎	・自治会単位の改善要望及び台風18号による復旧用冒頭については、関係課所の当初予算に盛り込まれ26年度に随時達成される予定。	塩田地域自治センター
5-2	10	環境啓発の実施	環境啓発の実施	環境啓発の実施	①広報うえだを活用した環境啓発活動 ②市公式HPを活用した環境啓発活動 ③行政チャンネルを活用した環境啓発活動	①啓発記事のページ数 ②環境関連記事へのアクセス数 ③環境啓発関係の番組数	○	・環境関連分野における市政重要課題については、広報紙やテレビ番組により重点的な広報活動を行うことができた。 ・例年広報している省エネやリサイクルに関しても幅広く情報発信を行った。 ・広報うえだの発行部数は、H24：59,400部からH25：59,200部に、更にH26：59,000部とした。	広報情報課
5-2	26	環境関連情報に関すること(情報の発信)	環境情報システムの整備	環境関連情報を発信します。	・ホームページの作成・更新 ・広報等へ関連記事を掲載 ・各課の通知文書やチラシ等に、環境関連のマーク・文言を加えるよう、機会をとらえて依頼する。	各種機会を捉え、環境について記事をまとめ、大きく広報に載せる。	◎	広報やHP、行政チャンネル、有線放送などを利用し環境保全に係る情報を発信することができた。	生活環境課
5-2	29	ISO14001普及啓発	地球環境の保全	ISO14001などの、事業者に対する環境マネジメントシステムに関する情報を提供し、支援します。	うえだ環境ISOネットワーク・長野県環境保全協会上小支部の活動などを通して、企業との情報交換・各種事業の実施	各イベントの際に協力して実施すること	◎	うえだ環境ISOネットワーク及び長野県環境保全協会上小支部との協力により ・うえだ環境フェア協力、情報提供 ・カンパニー・手帳プレゼント会 ・各種会議の際の情報交換を行った。 カンパニー・手帳プレゼント会では、プレゼント用カレンダー及び手帳がなくとも集まったほか、プレゼント会への来場者も多く、環境への関心の高さがうかがえた。	生活環境課
5-2	30	うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	廃棄物の減量と資源再利用の促進	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	うえだ環境フェアの開催 10月19日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	入場者数は1,150人であり、目標を達成しました。	生活環境課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境活動を発信する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
1-2	10	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	○	年度実績報告数 3件	丸子市民生活課
1-2	25	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.3%	◎	3月末現在新規接続戸数119戸	丸子上下水道課
1-2	26	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	△	3月末現在の有収率は67.48%でした。漏水調査で発見した箇所は随時修理を行っていますが、新たに漏水する箇所が発生し、有収率が上がりませんでした。	丸子上下水道課
1-2	42	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と環境保全を確保	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○処理場の整備 ①管平浄化センター改築更新 ②農集処理場の維持管理	○処理場の整備 ①管平浄化センター調整槽設備、沈砂池設備更新工事	△	長寿命化計画書の国との協議の遅れにより、更新設計委託が遅れた。	真田上下水道課
1-2	43	老朽管布設替	水資源の有効活用	有収率の向上	老朽管布設替	推定漏水量	○	三日城線送水管工事完了。別荘52号線配水管工事完了。漏水調査委託完了。	真田上下水道課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
1-2	62	排水設備の普及促進	水質の保全	下水道の早期接続	未接続者全戸へ電話での早期接続案内の実施 パンフレットの送付	未接続への電話度に集計	○	新規接続9戸、水洗化率88.4%	武石上下水道課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-2	22	① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。	① 実績数値による。	◎	・自然型水路工設置 空石積工 L=18.0m SL=0.6m*2	丸子産業観光課
2-2	38	天然素材利用農道・水路整備	環境に配慮した農道・水路の整備	農道、農業用水路において、環境に配慮した天然素材を利用する工法を推進します。	天然素材を利用した農道・水路を整備する。	農道・水路整備における天然素材を利用を5箇所以上採用する。	○	自然石積み工を曲尾・上洗馬・高屋・下原・花水地区の5箇所で行った	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-3	39	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成24年度 12ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 142.9ha →24年度目標 12ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。面積8.6haを達成した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-1	7	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月25日(日)	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	10月2日 役員会開催 11月1日 全体会開催 11月24日 前日準備 11月26日 消費生活展開催 来場者数 518人 来場者満足度 71.9% 11月26日 役員反省会 12月12日 会計監査 12月12日 実績報告書提出	丸子市民生活課
3-1	14	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 60件	○	補助金交付件数 43件(目標の71.6%)	丸子市民生活課
3-1	15	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	補助金交付件数 1件(目標の100%)	丸子市民生活課
3-1	28	給食の調理	循環型社会の形成	①調理くずの削減、②残食量の削減、③汚泥発生の抑制	①調理くず発生量を減らす ②残食量を減らす ③適切な排水処理により汚泥発生を抑制する	①日常の取組 実施 ②残食量 3500kg ③汚泥発生量 0kg	○	①実施 ②残食量2371kg 18.6%減 ③実施	丸子学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2	3	グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めめます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を88%以上とする	○	・平成25年度グリーン購入率の実績72.6%	丸子地域振興課
3-2	4	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の12%減(333,282kwh)	△	・エレベータ休日停止(H22より継続) ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知 ・平日夜間(21時~7時)エレベータ停止を実施(4月より18時~7時に延長実施) ・H25電気使用料 311,480kwh (H24前期比 331,113kwh、△5.9%) ・目標値未達成であったが、平成20年度以降、最低の電力消費量となった。	丸子地域振興課
3-2	5	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連27施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減(29,163kg)	◎	・H25実績 29,680kgと前年度比△1,490kg(△4.8%)と良好な結果となった。 ・可燃ごみの削減について、ゴミの分別を徹底通知(リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減)を実施	丸子地域振興課
3-2	6	集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	一昨年度実績の±0.0% ガソリン使用量3,150ℓ、軽油5,150ℓ	◎	・平成25年度車両燃料使用量削減状況 ガソリン4,057ℓ前年比△2.4%、 軽油6,068ℓ前年比 6.4%増 バス車両の運行増により軽油増(25/4上田地域の4月分バス代替運行ほか)	丸子地域振興課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2	9	防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(460基/2,302基)	◎	本年度配分数 26自治会470基 交付決定済数 26自治会470基 実績報告件数 26自治会470基	丸子市民生活課
3-2	16	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	◎	補助金交付件数 112件(目標の93.3%)	丸子市民生活課
3-2	21	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体へ説明会の開催 団体会員への「工振ニュース」で取得支援の情報を年2回提供する。併せてエコアクション21についても情報提供する。	参加者1回で30社40人	◎	今年も1社のISO取得を支援することが出来た。	丸子産業観光課
3-2	27	給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/農環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地元食材の利用、②食品残渣の再生利用、③廃食油の再生利用、④バイオディーゼル燃料(BDF)の使用	①地元食材の利用を促進する ②食品残渣のたい肥化等再生利用を図る ③廃食油のBDF化を促進する ④配送車燃料にBDF使用を促進する	①地元食材使用割合 45% ②再生利用の取組 実施 ③廃食油BDF化率 100% ④BDF使用量 230ℓ	◎	①41.9% ②再利用を実施 ③廃食油のBDF利用100% ④BDF利用162ℓ使用	丸子学校給食センター
3-2	29	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	・住民環境啓発		◎	各種告知媒体での乗り合わせ協力依頼により、用意した駐車場で間に合わせる事が出来た。	丸子社会教育課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2	66	省エネに努めるエコ対策	就労センター職員及び通所者の環境に対する意識を高める。	施設内の環境整備に努め、節電・節水・燃料の削減に努める。	ガソリン 月平均300ℓ 軽油 月平均200ℓ 灯油 月平均400ℓ 電 気 月平均2100kw	◎	徹底した節約、節電、節水により各項目とも目標値・前年比とも大幅に達成した。	社会就労センター・武石事業所	

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-3	17	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	△	補助金交付件数 3件(目標の25.0%) (1件申請後の取り下げがあり、最終的に3件になった)	丸子市民生活課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-2	23	花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1住民参加のための施策検討 2住民参加による緑化 3住民環境啓発	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑧講習会への参加	○	10月30日 秋植え球根配布(チューリップ7820球) 11月7日 上田市花と緑のまちづくりコンクール表彰式 団体50㎡以上の部 最優秀賞 腰越花花桃の会 優秀賞 東組自治会 奨励賞 尾野山長寿会 団体50㎡未満の部 優秀賞 和子自治会ふれあいの会 奨励賞 上平南自治会 学校の部 優秀賞 塩川小学校 1月1日「花だより2014」配布(丸子地域全戸) 3月15日 花づくり講習会 参加者19名 新規団体 1団体 参加人数3434人 球根植栽団体38団体	丸子建設課
4-2	24	住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 210人	○	11月6日 丸子ベルパーク花壇等 秋植作業 ボランティア参加者 12人 ピオーラ1150ポット チューリップ球根 350球 年間ボランティア参加者数 180名	丸子建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-3	8	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 10件以下	◎	苦情件数1件(看板設置) 3月 犬のしつけ方教室開催について広報うだに掲載した。 希望に応じ、随時 犬猫の正しい飼育方法チラシを自治会回覧した。	丸子市民生活課
4-3	11	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 9,200kg (H23の20%削減)	○	パトロール回数 4班 月3回 延べ140回 不法投棄のごみの量 5,562kg (目標の84.3%)	丸子市民生活課
4-3	12	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 5/27(日) 丸子地域は自治会ごとに随時実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 5,000人	◎	参加人数 4,257人(達成率85.1%)	丸子市民生活課
4-3	13	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	◎	(後期)10月24日 実施 参加6団体	丸子市民生活課
4-3	36	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	◎	全地域のアレチウリ駆除日を6/30(日)に設定したが、真田地域の自治会では都合で外の日を食の11自治会が駆除に取組み、58人の参加で約60haを駆除した。「アレチウリ生息なし」の報告が、16自治会よりあった。 私有地への駆除指導は広報により実施し、空き地等情に合わせ、土地管理者本人へも直接指導した。	真田市民生活課
4-3	41	道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	歩道新設 L=300m(今年度の事業であるが菅平での施工となる為、歩道完成は来年度となる。) 繰越事業 歩道新設 L=370m 11月完成予定	・工事の完了実績による。 (今年度については、工事発注であり歩道完成は来年度となる為、数値での評価が出来ない)	○	・H24繰越事業は計画のとおり 歩道新設 L=287mを11月に完成した。 ・今年度事業は用地確保に時間を要したことから、2路線でL=176mを工事発注まで完了しているが、実際の歩道完成は繰越手続きを取り、平成26年度となる。	真田建設課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-1	20	隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えの実施 ③エコ料理教室の開催…省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 90回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	◎	①隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか全92回開催(目標の102.2%) ・解放センターだより「彩り」に【チャレンジ25】のロゴ掲載(10回発行) ②6/8(金)実施 参加者21人。 ③8/22(水)実施 参加者13人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと。2.見た目もおいしそうなこと。3.その上にエコをプラスする。4.ガスや電気のエネルギーを大切に使う。5.ゴミをできるだけ少なく。6.水をむだなく使う。を学び実施できた。	丸子市民生活課
5-1	30	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・10月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。		◎	11月24日(日)に「リサイクルブックフェア」実施 持ち帰り冊数 1,266冊	丸子図書館
5-1	44	各種講座	地域における環境保全活動の推進	各種主催イベントの際に車相乗り参加の呼びかけ	公民館学級開催、各種大会開催の際の保全活動	各種主催イベントにおける、参加者募集時にチラシ、有線放送を利用し、参加の際の車相乗りの呼びかけ	◎	下半期実施イベントにおいて、車相乗りの周知を行なった。(会議、チラシなど)	真田地域教育事務所
5-1	45	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間にあわせ1階、2階コミュニティスペースに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。 ・12月の図書館祭では、本のリサイクル市を行い、本の有効利用を図る。		◎	12月に開催した本のリサイクル市は、市民への呼びかけ及び図書館所蔵本1,390点のリサイクル本のうち、1,182点を持ち帰っていただいた。また、新聞紙等により作成したエコバッグ145点、本の帯等により作成した袋176点を持ち帰っていただいた。	真田図書館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-2	2	わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体	◎	年間で12団体の申請を受付、補助事業を実施。環境保全の協力を促した。	丸子地域振興課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境活動を発信する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-3	1	丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)	◎	計画どおり実施した	丸子地域振興課

独自目標									
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課